

第1回大会報告

幼児教育史学会第1回大会は、2005年12月10日、上智大学を会場として開催されました。大会に先立ち、宍戸健夫会長より幼児教育史学会発会の挨拶があり、その後、以下のような研究発表と宮澤康人先生による講演が行われ、熱気あふれる議論が展開されました。大会参加者は46名、懇親会にも30名近い参加がありました。



〈宍戸会長の挨拶〉

研究発表

- ①戦前日本における幼稚園保姆検定制度の研究
——試験検定と無試験検定の検定水準——
佐野 友恵（大阪国際大学短期大学部）
- ②日本の幼児教育につくした宣教師
小林 恵子
- ③近代中国幼児教育におけるアメリカの影響
——陶行知の幼児教育実践を中心に——
潘 静（東京大学大学院）
- ④モンテッソーリ教育思想における補償教育の視点
早田 由美子（夙川学院短期大学）



講演

＜子育て文化の比較史＞への想像力
宮澤 康人（放送大学）

提案 太田 素子（湘北短期大学）
小玉 亮子（横浜市立大学）

